

科目責任者 日野 文男 (薬学教育研究センター)

■ 教育目的

英国ハートフォードシャー大学やカナダ・アルバータ大学薬学部など他の国の薬学教育、薬局業務、病院業務などについて、研修で習得したことをもとに、日本との違いを比較検討する。

■ 学習到達目標

研修を通して学んだことをキャリアーとして今後に生かすため、将来の薬剤師として、他国の患者さんが薬局等の医療提供施設に訪れたことを想定し、日本の医療と他国のそれとの違いを説明できるようになる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：演習テーマについて、海外医療研修で身に着けた知識の整理、研修報告書の内容の確認、演習関連資料を収集するなどして予備知識を自己学習する。

復習：演習内容の理解不足については早急に復習して知識を補うこと。また、SGDでは自分の考えや調査したことを簡潔にまとめて説明できたかどうか、意見の違う人を批判せずに自分の考えを述べられたかどうかを学生同士で確認すること。

■ 授業内容

- 英国およびカナダの薬学教育、薬局業務、病院業務などについてテーマ別に日本のそれらと比較検討する。
- 海外における薬剤師の生涯学習について調査を行い議論する。
- 諸外国の薬剤師資格試験の演習をとおして、日本の薬剤師国家試験との違いを比較検討する。
- 提携大学の教員・留学生に、日本の薬学教育、医療における薬剤師の業務などについて説明する。

■ 授業分担者

日野 文男（責任者）、石橋 賢一、越前 宏俊、溝口 幸則、Cheryl Cox（アルバータ大学教員）

■ 成績評価方法

事前演習および研修中の出席（50%）、研修レポート（50%）等を総合的に判断し評価する。

■ 教科書

特に指定なし。必要に応じてプリントを配布する。

■ 参考書

SGD を基本とする。